

題材名「古墳について調べよう」

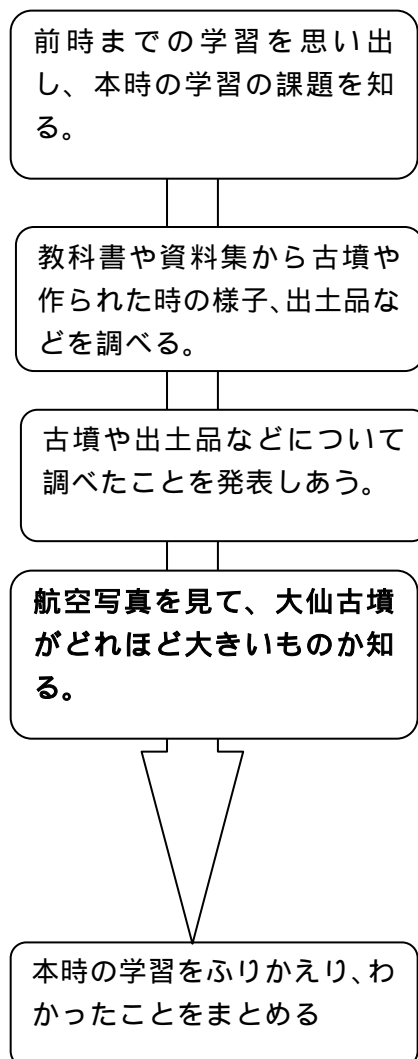
目 標

- ・ナガレ山古墳や大仙古墳の様子や出土品から、強い力をもった豪族や王が現れた様子をとらえることができる。

コンピュータを利用する利点

児童はこれまで、「むら」ができ、むら同士の争いによりさらに大きなまとまりである「くに」ができたことを学習している。そして今回の授業ではその「くに」の王や豪族の力がどれほどのものだったかを学習していく。そこで、教科書の文章や挿絵などから、児童は十分に強い力をもった豪族や王が現れたことを知らせるだけでなく、航空写真を見せることで古墳の大きさに、驚きを感じ、力の強い王が現れたことをしっかりとらえさせたいと考えた。

授業の流れ



I C T活用場面



この授業では、航空写真を用いた。まずは拡大した大仙古墳を提示して周りの建物と比べさせながら大仙古墳の大きさをとらえさせた。そのあと少しずつ上空から撮った航空写真を見せていき、大阪湾や神戸まで見えても大仙古墳がどれか見つけさせることで大きさを感じ取らせた。

成果と課題

児童は徐々に広範囲にわたって映し出される航空写真でも大仙古墳の存在が確認できることに驚きを覚えていた。そして自分たちの兵庫県が映し出されてもまだ確認できることからその大きさを感じ取り、当時の王の力の強さをとらえることができたようだ。

I C T活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクタ
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	普通教室